

# 梅木加津子 議員



## (二括質問方式)

- ① 第92号議案(番号利用条例)
- ② 伊方原発の再稼働問題
- ③ TPP合意問題と本市への影響額
- ④ 子育て支援
- ⑤ 雇用問題
- ⑥ 大洲病院のあり方と給食の民間委託
- ⑦ 地域公共交通
- ⑧ 鹿野川ダム改造事業の見直し

### 番号利用条例について

**問** マイナンバーは、紛失、漏えいすれば恐ろしいものであ

り、悪質な詐欺の問題が指摘されている。当市でも既に番号を聞き、預金を目当てにいろいろな動きが出てきているようだが、ナンバーが何か分からない人が多い中で、被害が甚大になる危険がある。市が番号を利用して、当事者に不利益を与えた場合、市として責任はどのようにとるのか。

### 答

この条例案は、市の独自利用事務として子供医療費助成制度やひとり親家庭医療費助成制度などの事務を規定するとともに、必要かつ最小限の範囲において情報の授受ができるようにするため制定しようとするものです。事務の実施に当たっては、情報漏えい等のないよう適切に取り扱っていきますが、万が一、条例に定める事務の中で職員の不正行為等により個人に損害を与えた場合には、市が責任を持って必要な対応を行っていきたいと考えています。

### 子育て支援について

### 問

9月議会で、保護者の負担を軽減する取り組みを重点的に進めたいと答弁された。

親の扶養になっている子供の第3子について、保育料、授業料の

無料化の提案がされているが、どの程度の予算を想定されているのか。具体的な構想を伺いたい。

### 答

無料化は、保護者が現に養育している子供が3人以上いる世帯において当該世帯の3人目以降の児童を対象とするものであり、原則として住所や納税状況などの要件はありますが、保護者の所得には制限を設けないこととしています。本事業は平成28年度の保育所等入所児童から適用することとなり、保育料への影響額は年間4,000万円を超すものと考えています。

### 鹿野川ダム改造事業の見直しについて

### 問

鹿野川ダムの改造事業が2年遅れて2018年度になり、全体事業費が67億円の増額で、事業費は60億円積み増し、487億円になると新聞報道された。国体は17年度であり、危険ではないかと心配されているが、詳しい説明を求めたい。

### 答

国体でのカヌー競技への影響範囲としては、工事のために設置されている汚濁防止フェンスの一部が影響すると伺っています。

す。このため、国土交通省では、期間中は貯水池側の工事を休止し、支障となる汚濁防止フェンスを撤去するなど、安全対策を図り、競技の開催に支障がないようにするとされています。なお、当市ではダム湖内に位置する仮設構台は、安全対策を図ることで競技観戦などに有効に活用できる可能性があると考えており、利用に向けて国に積極的な協力をお願いしていきたいと考えています。

カヌー競技が予定されている鹿野川湖

